

北海道開発局事業審議委員会（令和7年度第4回） 審議案件一覧【事後評価】《道路事業》

	事業名	上段：新規又は 前回評価 下段：今回評価	事業の概要、目的・必要性等	事業期間		総事業費 (億円)	事業の効果の発現状況	費用便益比 B/C	総費用 (億円)	総便益 (億円)	今後の事後評価の必要性 等	備 考
				事業化年度	完了年度							
後～1	函館新外環状道路 (一般国道278号) 空港道路	再評価※	空港道路は、高速ネットワークの拡充による近隣都市間の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び拠点空港函館空港、重要港湾函館港等への物流の効率化等の支援を目的とした延長10.0kmの事業。	H19	H27	377	【空港アクセスの向上及び交通混雑の緩和】 ・ 空港への速達性が向上したほか、函館市内の交通混雑の緩和に寄与。 【道路交通の安全性向上】 ・ 当該道路へ交通が転換したことにより、並行する生活道路の交通量が減少し、安全性が向上。 【観光地への利便性向上】 ・ 周辺道路の交通混雑が緩和され、函館市内及び松前・七飯方面の主要観光地へのアクセス性が向上し、道南地域の観光振興に寄与。	3.4	310	1,048	【今後の事後評価及び改善措置の必要性】 ・ 空港道路の整備により、高速ネットワークの拡充による近隣都市間の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び拠点空港函館空港、重要港湾函館港等への物流の効率化の支援等、当初の目的が達成されていることから、今後の事後評価及び改善措置の必要性はないものとする。 なお、今後も利用状況の把握に努めるとともに、利用しやすい道路環境を確保するため、適切な維持管理に取り組んでいく。	
		事後評価			R2	677	【救急搬送の速達性・安定性向上】 ・ 救急搬送の速達性及び安定性が大きく向上し、七飯町の救急医療体制の確保に寄与。 【工業団地の利便性向上・拠点プロジェクトとの連携】 ・ 工業団地からの速達性・安全性の高い輸送ルートが確保され生產品の流通効率が向上。空港などの交通拠点や交流施設へのアクセス性の改善による利用者の利便性向上により、沿線地域の企業立地の促進、拠点開発に大きく寄与。	1.7	1,036	1,746	【同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性】 ・ 現道の交通状況や地域計画を鑑み、事業計画の修正を行った上で事業を進めることができた。 今後も、事業の実施においては、関係機関とも綿密に連携し、調査分析を進めていくことが重要である。 また、事業評価手法の見直しの必要性はないものとする。	

※道路事業は、新規採択時評価もしくは、最も古い再評価の結果を用いて比較を行う。